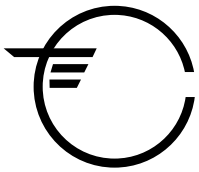
## 概　要

| | |
|---|---|
| 位　置 | 福島県中南部（石川郡） |
| 地　勢 | 阿武隈山系の西斜面の丘陵地に位置し、比較的平坦地である西部地区と中山間地の東部地区からなり、豊かな自然があふれる農村です。　※東西 11.3 ㎞、南北 9.2 ㎞、面積 46.67 ㎢、標高 246m～約 650m |
| 気　候 | 阿武隈山系特有の起伏の多い地形であるため、標高別の気象条件の変化が大きく、気温の年較差も日較差も比較的大きいのが特徴です。また、東北地方にありながら、冬季の降雪は比較的少ない地域です。 |
| 人　口 | 5,698 人（令和７年国勢調査） |
| 産　業 | 水稲やトマト・キュウリ等の農業が村の主要産業ですが、西部地区には玉川工業団地があり、多くの雇用を生み出しています。 |
| 教育関連 | 認定こども園 … 1　／　小学校 … 2（放課後児童クラブ … 2）　／　中学校 … 1 |

## 村　章

［昭和49年制定］



玉川村の頭文字「た」を図案化したもので、村民の和と協力によって明るく豊かな村づくりに着実に進む玉川村を象徴している。

## 村民憲章

［昭和60年11月制定］

玉川村の住民としての誇りと責任を持ち、美しい自然と伝統ある郷土を愛し、さらに活力に満ちた魅力ある村づくりを進めるため、この憲章を制定し実施します。

1. 美しい自然と伝統を大切にし、住みよい村をつくりましょう。
1. 教養と文化を高め、心豊かな村をつくりましょう。
1. 健康で楽しく働き、活力ある村をつくりましょう。
1. 思いやりと連帯の心を養い、明るい村をつくりましょう。
1. 広い視野と創意を持ち、飛躍する村をつくりましょう。

## 由　来

須釜村から泉村に流れている玉川（その後名称変更により現在泉郷川となる）にちなんで命名されたもので、その意味には、相馬にある妙見神社がその昔、泉の庄玉川の辺に鎮座したという古事もあり、さらに泉が須釜村と合併して川になると云う意味が含まれていると、合併当時の記録にしるされている。妙見神社：両村境の玉川沿いの小高い森に鎮座する社である。

## シンボル

［昭和60年制定］



村の花：**山桜**



村の木：**赤松**



村の鳥：**山鳩**

## アクセス

